

研究開発力を格段に高める

研究開発 基盤力強化 セミナー

新価値を生み出す実践力養成講座

強い会社・儲かる会社は
研究開発力が強い！
本質的に研究開発力を
強化する実践力養成講座登場！

日程 9月12日水、26日水
10月10日水
いずれも10時00分～17時00分

受講料 210,000円 (資料・昼食代含む、税込み)
※同時複数人数お申し込みの場合2人目から168,000円(資料・昼食含む、税込み)
※振込手数料は貴社にてご負担ください。

受講生
募集中!
開講・全3回

講座の特徴

研究開発にとって最も重要となる基盤能力を養成します。基盤能力は高業績につながる新価値創造のために絶対外せない思考と行動のポイントです。本講座は研究開発力を本質的に強化する実践力養成講座です。

1 研究開発の本質を理解し思考モードを強化する

知覚的思考モードの活用で失敗を招く虚妄性や恣意性から逃れ、洞察力を格段に高めます。

2 テクノロジーマーケティング要領を身につける

テクノロジーをテコに新市場・新価値を創出するための思考と実践行動を身につけます。

3 発想からビジネス創出までの構想力を高める

研究開発プロセスを明確にしビジネスマインドを喚起します。
かつ自社の推進力が高まります。

主催：日刊工業新聞社

企画協力：(株)デュアルイノベーション

研究開発力を格段に高める

研究開発 基盤力強化セミナー

新価値を生み出す実践力養成講座

講座の特徴

研究開発にとってもっとも重要となる基盤能力を養成します。研究開発能力は図のように三層構造からなり、日刊工業新聞社はこれまで基盤技術をテーマに専門知識を高める「技術セミナー」を中心に開催してきましたが、これに加え、研究開発にとって更に重要となる「基盤力強化セミナー」を提供致します。

「基盤力強化セミナー」は、研究開発にとって絶対的に必要不可欠な別のものの見方、間違いを引き起こし失敗につながる虚妄性や恣意性を排除する力、新たな疑問に気づく力、自らの暗黙知を相手に伝える力、組織力を高める力、アイデア発想力・構想力など研究開発力を格段に高める基盤能力を養成する実践力強化講座です。

知識や技術が豊富でもなかなか業績につながらなかったり、ブレークスルー（飛躍的躍進）が生まれないのは、こうした基盤能力の欠如があげられます。基盤能力がなければ専門知識や技術力は有効に機能しません。そのことは多くの失敗と成功事例から明らかとなっています。研究開発者一人ひとりの基盤能力を引き出し高めることで、研究開発力は格段に高まり、かつ組織力が強化され業績を向上させる大きな力となります。本講座では、高い業績を誇るトップ企業の失敗と成功事例や研究開発推進事例を取り上げ、さまざまな角度から分析・グループ討議するインタラクティブ形式で展開します。実践力を高めるノウハウ集を三日間に凝縮した集中講座です。

〈講師〉 石原信行氏

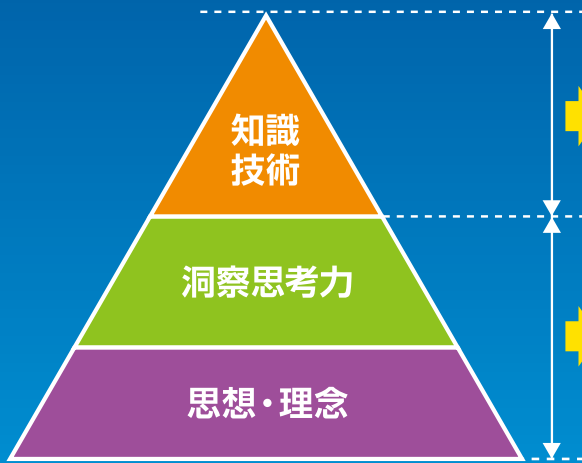
知力経営研究所代表（元本田技術研究所取締役）／
早稲田大学エクステンションセンター講師／株式会社デュアルイノベーション・フェロー

【プロフィール】

豊富な研究開発実績に加え、ロジャー・スペリーの脳科学とマーケティング理論を融合したクロスオーバー技術を中心に、研究開発力・商品戦略・リーダーシップ・マーケティング発想法など幅広く指導する。
●東京教育大学卒●88年にシンガポールとタイにホンダの東南アジア研究所を立ち上げた初代所長。独特のマーケティング手法から空前のヒット商品となったNOVAを初め、20機種以上に及ぶ新商品を企画立案、現地研究開発を主導しタイホンダを世界最大の二輪車工場へと押し上げた。●88年から92年、タイ国立キングモンクット・ラッカバン工業大学特任講師、タイの工業化に貢献し国から感謝状授与●96年本田技術研究所取締役●98年ホンダヨーロッパ研究所副社長●03年知力経営研究所設立。プロ人材育成分野へ●06年より富士通研究所テクノロジーマーケティング講師●主な著書「知力開発」（06年ユウメディア）「コンピテンシーモデル」（2011年知力経営研究所研修専用図書）など。



業績を生む研究開発力三層構造



日刊工業新聞社の教育事業

技術セミナー

モノづくり製造業を支える基盤技術をテーマにした専門技術力養成講座

基盤力強化セミナー

研究開発力を格段に高める基礎能力を養成する実践力強化講座。ものの見方・気づく力・伝える力・アイデア発想力・構想力を強化し、次世代R&Dリーダーを養成する。

強い会社・儲かる会社は研究開発力が強い！

本質的に研究開発力を強化する実践力養成講座がついに登場！

■プログラムの主な内容〈各10:00~17:00〉

第1回 研究開発の本質を理解し思考モードを強化する

研究開発力三層構造の基盤能力である洞察思考力に焦点を当てる。

- 知覚的思考モードの活用で失敗を招く虚妄性や恣意性から逃れ、洞察力を格段に高める／R&Dの意義と4つのニーズを考える／人間の思考構造を脳科学の観点から考察し言語的思考モードと知覚的思考モードの違いと重要性を認識する。
- ケース分析討議「人間型二足歩行ロボットの研究開発」
- ケース分析討議「大型バイクの研究開発と開発要件設定の間違い」

第2回 テクノロジーマーケティング要領を身につける

研究開発力三層構造の基盤能力である思想・理念に焦点を当てる。

- テクノロジーをテコに新市場を創出するための思考と実践行動を考える／研究開発に求められるマーケティング要素を身につける／顧客満足から顧客感動領域を創出するためのマーケティング要領を考察する／品質について考える／顧客と市場を読み解くための行動原則を身につける。
- ケース分析討議「変質した焼酎の味と顧客対応」
- ケース分析討議「外資系流通企業の失敗と商品戦略」

第3回 発想からビジネス創出までの構想力を高める

研究開発力三層構造全体としての実践力強化を図る。

- 研究開発プロセスを明確にしビジネスマインドを喚起する。かつ自社の研究開発推進力を高める／発想力を飛躍的に高めるRモード発想法を身につける／コンセプト力を高める／暗黙知の表出化手法と組織的知識創造要領を学ぶ。
- ケース分析討議「反対の中で推進する新コンセプト自動車の研究開発」
- 研究開発を推進するコンセプト確認書「Research-10」

※ケース分析テーマは状況により入れ替えもしくは追加挿入を行う場合があります。

講師からのメッセージ

創造とは「新たに造ること。新しいものを造りはじめること」と定義されています。しかしそれが売れるとはかぎりません。創出とは、社会や人々に受け入れられる新価値を創造するには、「こうして、こうすればできる」という情報を考え出すことと定義しています。

知識や技術がいくらあっても、高業績に結びつかないのは、創出の認識に甘さが見られる場合が多くあります。そもそも問題設定に誤りがあれば、おのずと答えも間違ってくる。いくら優れた技術があっても、企画が間違っていれば成功を見られません。いい創出を導くには、新たな疑問に気づき正しく問題を設定する、最初の洞察力が鍵となります。そのためには、三現主義（現場・現物・現実）に基づく思考と行動が求められるが、そう簡単にはいきません。特に海外展開では、ここで勝敗が決まるといっても過言ではありません。多くの人は虚妄性や恣意性という罠にかかるからです。虚妄性とは、ものごとを正しく洞察したつもりでも間違っていることです。そしてその誤りにまったく気づいていないことをいいます。恣意性とは、自分の中にある判断基準でものごとを解釈するために判断を誤ることです。こちらまた、その誤りになかなか気づきません。ゆえに、知識や技術が豊富で、かつ三現主義行動をとっても、なかなか業績につながりません。

本講座で提案している3つのポイントは、まさに「新規創出」のための思考と行動の生命線であり、本質的に研究開発力を強化する実践ノウハウ集です。

会場案内図 日刊工業新聞社セミナー会場

【アクセス】 東京メトロ 日比谷線 人形町駅 (A2) 出口より徒歩3分
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅 (8番) 出口より徒歩4分
都営浅草線 人形町駅 (A6) 出口より徒歩3分

日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

アクセス

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

申込方法

申込書を郵送またはFAXにてお申し込み下さい。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担下さい。

口座名義 (株)日刊工業新聞社

りそな銀行 東京営業部 当座 656007
三井住友銀行 神田支店 当座 1023771
みずほ銀行 九段支店 当座 21049
三菱東京UFJ銀行 神保町支店 当座 9000445

申込先

日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp

《 受講 申込 書 》

研究開発基盤力強化セミナー

お申し込みは FAX. **03-5644-7215**

■受講料 210,000円 (資料・昼食含む、消費税込み) ※同時複数人数お申し込みの場合2人目から168,000円 ※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL :
所在地	〒		FAX :
	E-mail :	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた参加料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
尚、宛先変更・配信停止をご希望の際には、右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkans.co.jp

No.120060